

論文発表および 受賞歴



受賞歴

ベストアブストラクト受賞

「腱板断端における MRI による Stump 分類と組織像の比較検討」

石谷栄一 第 46 回日本肩関節学会 2019,10,25-26

最優秀演題賞、ベストアブストラクト賞

「MRI による腱板断裂 Stump 分類が ARCR 術後再断裂の予測因子になる」

石谷栄一 第 45 回日本肩関節学会 2018,10,19-20



論文発表

2019 年度

1. Tendon Stump Type on Magnetic Resonance Imaging is a Predictive Factor for Retear after Arthroscopic Rotator Cuff Repair. Eiichi Ishitani, Journal of Shoulder and Elbow Surgery, 28, 1647-1653, 2019
2. Tuberculosis osteomyelitis in an old fused hip , activated by Prednisolone , Salazosulfapyridine, and low Methotrexate therapy in a patient with rheumatoid arthritis. Humi Okada, Modern Rheumatology Case Reports, Vol.4, Issue2, 20203.
3. 鏡視下腱板収縮術後再断裂例における患者万蔵度と臨床成績の関係, 原田伸哉, 肩関節, 43 巻 2019

論文発表および 受賞歴

2018年度

1. 不顕在性踵骨骨折の検討, 岡田文, 坂田真幸, 日本足学会誌, 39 (1) : 19-22, 2018
2. 術前 MRI による腱板断端の信号強度と ARCR 術後再断裂の関係, 石谷栄一, 肩関節, 43 巻, 3号, 2018
3. ARCR 術前リハビリテーションが患者の身体に与える影響, 原田伸哉, JOSKAS, 43 巻, 2018

2017年度

1. 足底部腱鞘線維腫の 1 例、岡田文、日本足の外科学会誌、38 (1) : 199-201, 2017

2016年度

1. 外傷性と非外傷性腱板断裂における胸椎アライメントの相違, 石谷栄一, 肩関節, 第 40 巻, 第 2 号, 2016
2. 三角筋面積と脂肪浸潤がリバーズ型人工肩関節置換術に与える影響, 石谷栄一, 肩関節, 第 41 巻, 第 2 号 2017

2015年度

1. 胸椎の矢状面アライメントと可動性が腱板断裂の要因となる, 石谷栄一, 肩関節, 39 巻, 3号, 2015
2. 掌蹠膿疱症性骨関節炎 (PAO) の臨床的検討, 岡田文, 九州リウマチ, 35 巻, 2号, 2015
3. A suspected case of IgG4-related bilateral arthritis of the knee, Humi Okada, Journal of Orthopaedics science, 21, 2016